

# 第1回自分ごと化会議in長岡京 改善提案シート(中間とりまとめ1)

## 第2分科会

提案No.	大カテゴリー (基本方針)	中カテゴリー (施策)	あなたが考える現状の課題	それぞれの現状				自由記載
				個人	地域	行政	その他	
1	防災・防犯	防災・防犯の危機意識	防災・防犯に対する危機意識に差がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆自分ごと化会議のような協議の場などに参加して勉強する。</li> <li>◆家族と話し合う。</li> <li>◆「もしも」を想定して自分の住んでいる地域の危険について考える。</li> <li>◆必要性をPRする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆月1回の頻度で継続的にどこが危険な場所か地域で話し合う。</li> <li>◆サポートに全力を尽くす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆今後も継続して学校での避難訓練や古くなった備蓄品の支給を続ける。</li> <li>◆ハザードマップの更新や情報誌の配布、防災イベントの開催を増やす。</li> <li>◆必要性のPR</li> </ul>		◆要配慮者の避難手段、名簿の開示は可能か？
2	防災・防犯	防災・防犯活動への意識づけ	防災・防犯活動への参加者が少ない。	◆活動への参加呼びかけ(PRが不足しているかも)。	◆自治会・老人会への呼びかけ。	◆防災・防犯に関するPRが不足しているのでは。町に防犯カメラが設置してあることなど等。		
3	防災・防犯	災害発生時における要配慮者への支援	災害発生時において、要配慮者をどう支え、どう避難するか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域との繋がりを意識して、深めていく。</li> <li>◆意識して人の顔を知る。近所の人を知る。</li> <li>◆近所のお年寄りを助ける意識を持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆普段から住民同士で声掛けを行い、どんな人がいるのかを確認する。</li> <li>◆向こう三軒両隣声掛け運動を続ける(会員・非会員問わず)。</li> <li>◆地域住民の協力体制を整える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆事前に要配慮者等の情報を提供し、周知のうえ備える。</li> <li>◆迅速な救助体制を整える。</li> <li>◆そもそも「要配慮者」とは何かを広める。</li> </ul>		◆要配慮者の情報(名簿はあるが個人情報の流出に危惧)
4	自治会・地域コミュニティ	自治会加入率の低下	自治会加入者の減少(自治会の魅力や大切さが伝わっていない)。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域での交流に様々な世代の方を巻き込んでいく。</li> <li>◆自治会の大切さを伝える。</li> </ul>	◆加入を勧める。	◆転入時に書類で自治会の案内をする。		

提案 No.	大カテゴリー (基本方針)	中カテゴリー (施策)	あなたが考える現状の 課題	それぞれの現状				自由記載
				個人	地域	行政	その他	
5	自治会・地域コ ミュニティ	自治会の活動	自治会によって活動内 容が違う。 新型コロナウイルス感 染拡大防止のため、行 事等が中止となって活 動が出来ない。	◆自治会で防災・防犯 活動が積極的に行う場 合は参画したい。		◆自治会に対してもっと 手厚い対応をしてほし い。 ◆新型コロナウイルス 拡大の拡大につき、自 治会・コミュニティの行 事がすべて中止になっ ているが、その対応を 考えてほしい。		
6	自治会・地域コ ミュニティ	地域(近所)の繋がり	住民同士の交流の機会 が減り、近所の人を不 知(横のつながりが ない)。	◆時間を取って自治会 に参加する。 ◆今日の話を中心に話 す。 ◆向こう三軒両隣の精 神で周囲の住民を把握 しておく。	◆自治会活動を活発に 行い、住民全体の交流 を進めていく。 ◆自治会の活動につ いて知ってもらう。	◆自治会の活動につ いて広報・周知を行う。		
7	自治会・地域コ ミュニティ	地域(近所)の繋がり	声掛けしづらい(ど この誰だかわからない 人が声かけたら変な 人と思われそう)。					

### 第3分科会

提案 No.	大カテゴリー (基本方針)	中カテゴリー (施策)	あなたが考える現状の 課題	それぞれの現状				自由記載
				個人	地域	行政	その他	
1	高齢者	生きがい	高齢者が家に引きこもりがち。	◆老後にしたいこと(環境保護・防災・育児などのボランティア)を持つ。	◆高齢者向けのイベント開催や高齢者ボランティアを募集する。	◆高齢者が外で活動した場合、高齢者が喜ぶ特典(寂しさを埋めるようなもの)を付与する。		
2	高齢者	高齢化	高齢化への不安。高齢化は誰にでも起こること高齢化へのマイナスイメージが強い気がする。	◆高齢者の暮らしを知る。	◆高齢者とコミュニケーションを取れる場を作る。			
3	高齢者	高齢化	高齢者が多い地域では、若者に負担がかかりやすい(運動会への参加など)。					
4	高齢者	老人クラブ	年配向けの自治会イベントが少なく、老人クラブの加入率も低い(久貝地区65歳以上の高齢者436人中、老人クラブ加入者約70人、加入率16%)	◆コーディネーター役を務める。	◆老人クラブの設立 ◆久貝安心暮らしっく熟充実を図る。			
5	高齢者	シルバー人材センター	シルバー人材センター会員の人手不足。	◆会員に登録する。		◆広報で募集する。		

提案No.	大カテゴリー (基本方針)	中カテゴリー (施策)	あなたが考える現状の課題	それぞれの現状				自由記載
				個人	地域	行政	その他	
6	高齢者	地域での見守り・支え合い	老々介護の負担が大きい。	◆家族・親戚の状況を理解する。	◆近くの住民の状況を把握・理解し、市役所や施設などを紹介する。	◆高齢者のみで生活されている方に連絡・訪問などで呼びかけ。場所の理解、福祉制度を紹介する。		
7	高齢者	地域での見守り・支え合い	高齢者の徘徊。一人暮らしの高齢者の方が、目的もなく外に出歩いていて危ない。	休みの日に散歩がてら近所を回って、高齢者の見回りをする。	出歩くのは寂しいのが原因ではないと思うので、高齢者同士で会話しながらお茶会をしたり運動をしたりする。コミュニケーションを増やす。			
8	高齢者	地域での見守り・支え合い	独居高齢者の増加。	◆独居の老人と思われる人には積極的に声をかけている。 ◆地域の支え合いの担い手となる。	◆自治会として見守り活動を活発化させる。 ◆地域の支え合いの仕組みを作る。			◆長岡京市が特に高齢者のウェイトが多いとは思っていない(例えば、堺市の泉北ニュータウンとか豊中の千里ニュータウンなどと比べてみて)。 ◆独居老人の割合(世帯数)を知りたい(国勢調査からわかりませんか?)。
9	子育て	育児相談	核家族が進んでいて先輩ママの意見を聞く機会が少ない(特に子どものイヤイヤ期の育児が大変)。	◆個人としては、その時期は卒業したけれど、同じ内容で悩んでおられる方を助けてあげたい。		◆子どもの検診で集まった時に呼び掛ける。		
10	子育て	公園	公園の中の遊び方危険。					
11	自治会・地域コミュニティ	未組織地域における新設	梅が丘に自治会がない。					

提案No.	大カテゴリー (基本方針)	中カテゴリー (施策)	あなたが考える現状の課題	それぞれの現状				自由記載
				個人	地域	行政	その他	
12	自治会・地域コミュニティ	自治会の退会	自治会を高齢を理由にやめるケースがある					
13	自治会・地域コミュニティ	新規加入者	古くからある自治会に新規加入しづらい。中には別に入らなくてもいいからとアナウンスする人もいる。	◆新入りの人に声をかける。「入ってもらべきものである」という意識づけ。	◆「できる限り加入してほしい」という。			◆自治会=隣組？(隣組には入っているのですが、自治会に入っているのかわからない) ◆引越してきた若い世代が排他的な元々の高齢世代になじめない、行事も入れてもらえないことが通例化している。
14	自治会・地域コミュニティ	自治会館の活用	自治会館を上手く利用しにくい。					
15	自治会・地域コミュニティ	若い世代の地域参加	若い世代の地域活動の参加が少なく、近所づきあいも疎遠である。	◆参加する。 ◆コミュニケーション・人間関係・心理学・ファシリテーション・デザインについて、一人一人が学ぶ。	◆呼びかけ。	◆認知されるようポスターなどで呼びかけをおこなう。 ◆地域活動への協賛。		◆若い世代が参加しないことは問題か？なぜ参加してほしい？若い世代が参加しないのは興味も必要性も感じないから。 ◆隣近所とのコミュニケーションがない。あれば良いけど無いことは問題か？あればあったで人間関係のストレスがある。 ◆地域の問題ではなく、一人一人の心持(知識・行動・相手の立場で考えられるかどうか)の問題では？
16	自治会・地域コミュニティ	地域(近所)の繋がり	地域のコミュニケーション、世代間の交流が不足しており、隣近所の人が誰かわからない。	◆現在ある行事・交流の場に参加する。 ◆月1回でも集まって「おしゃべりサロン」のように話し合うこと。 ◆同一世代との係わりだけでなく、同じ地域の異なる世代との係わりを増やす。	◆自治会の活動参加者を増やす。 ◆魅力的な交流の場を作る。 ◆ラジオ体操を平日は高齢者だけでもいいが、休日は子供から高齢者まで参加できるようにする。	◆地域活動に対する補助金を出す。		

提案No.	大カテゴリー (基本方針)	中カテゴリー (施策)	あなたが考える現状の課題	それぞれの現状				自由記載
				個人	地域	行政	その他	
17	自治会・地域コミュニティ	地域イベント	地域行事(運動会)がマンネリ化している(運営している人が同じ)。		◆参加するとこんな良いことがあるという、わかりやすい報酬(お金ではなく)を設ける。			◆娯楽が増えて個人の幸せが大切な時代、地域の運動会は尊いがこれからの時代必要か？「上手くいった事例の共有が大切」。PDCA回していこう！どんどん試すこと。そして、上手くいった点を残していく。他所からも盗むことが大切。
18	自治会・地域コミュニティ	地域コミュニティ協議会	地域コミュニティ協議会の認知度や活動について知らない方が多い。					
19	道路・交通	安全快適な歩道の整備	道が狭い。歩道がすれ違えない狭さ。(アゼリア通り特に阪急長岡天神駅西側周辺)	◆歩車(自転車)分離の意識			◆JR長岡京の地下通路のようにテープを流す。	◆車いすでの通行が車道へはみだし非常に危険。 ◆アゼリア通りを高齢者が信号も横断歩道もないところを横切るので危ない。
20	道路・交通	高齢者の事故防止	高齢者の交通事故	◆常日頃から安全運転を心がける。 ◆積極的に免許を返納する。 ◆夜道を歩く際は反射板を身につける。		◆各種啓発・広報活動を行う。 ◆免許返納者に対する特典をつける。		
21	道路・交通	子どもの事故防止	自転車に乗る子供が、細い道から飛び出してくる。					
22	道路・交通	迷惑駐車	公園周辺の迷惑駐車が多い。					

提案 No.	大カテゴリー (基本方針)	中カテゴリー (施策)	あなたが考える現状の 課題	それぞれの現状				自由記載
				個人	地域	行政	その他	
23	防災	災害発生時における要 配慮者への支援	要支援者に対し、支援 者も高齢になった場 合、誰が支援者となる のか。					
24	防災	災害発生時における要 配慮者への支援	災害発生時の自治会員 と非自治会員との対応 に違いがあるのか？ (自治会費で購入した 物を非自治会員に提供 できるのか？)					

## 第4分科会

提案 No.	大カテゴリー (基本方針)	中カテゴリー (施策)	あなたが考える現状の課題	それぞれの現状				自由記載
				個人	地域	行政	その他	
1	子育て	子育て中の親サポート	義務教育課程に入ると、子どもの困りごとができた時に気軽に相談できるところがわからなくなる。				◆外部の支援、地域の力を使って、他の支援機関や市民団体、民間企業とも連携を取って支援を必要とする親子にうまくつながるシステムを構築。	◆人口比から見ても、現役の子育て中の親子は少なく、そうでない人たちは現状を知らないことが多いように感じる。保育園・学童の利用者がどれだけ多いか、子供たちの毎日の生活、行動範囲がどうなっているのか、困りごとが何なのか知ってほしい。
2	子育て	子育て中の親サポート	子育て中の親の息抜きできる場所が知られていない。	◆無料または低料金で利用できる場所を調べ伝える。			◆集まった情報を一覧にして多くの保護者が知れるようにする。	
3	子育て	子育て中の親サポート	望まない妊娠をしてしまった女性のサポートがあまりない。	◆病院や子育て支援の補助金や、子と親のかわりを持ってくれるサポーターを探す。	◆相談できる施設や人へつなげる。 ◆万が一のことがあった時、子育て経験のある方に身を寄せられるようにする。		◆個人情報の漏洩を防止する策を立てながら、子育てサポートをする制度等の紹介、手続きの案内。	
4	子育て	子育て中の親サポート	コロナ禍におけるひとり親サポート。	◆児童館や学校などの公共施設を用いて、子どもの居場所を作る。	◆見守るパトロールの時間を決めて、子どもの安全を確認する。 ◆子ども食堂のように帰りの遅い親のサポートをする。		◆病児保育や一時預かりのサービスを提供している情報を収集し、案内HP等を掲げる。	
3	子育て	子どもの遊び場・学び場	子供がのびのびと遊べる場所(規制が厳しい)、屋内施設で子供が気軽に利用できる場(勉強したり遊んだり)が少ない。	◆公園等、友人と集まりやすいところに足を運ぶ。 ◆遊び場の情報を知人などへ教える。 ◆見かけた子供へ声掛けを行い、子育て広場を教える。 ◆オンライン通信を利用した遊びに切り替える。	◆交流の場を創出する企画を立ち上げる。 ◆自治会館を子育て中の親の居場所として開放する。		◆勉強の場として開放しているが、使用者があまりない場合は、遊び場としても提供する。 ◆子どもに接するときの講習を開催する。	◆以下の①～③の原因により、親や子供の交流の場が減り、地域交流が希薄化している。 ①子供が伸び伸びと遊べる場・勉強できる場が減少している。 ②子ども会(自治会)から抜けていく現象(子供が小6から中学にあがると抜ける) ③習い事をする子供の増加(送り迎えも親がするため、子ども同士の交流が減少)



提案 No.	大カテゴリー (基本方針)	中カテゴリー (施策)	あなたが考える現状の 課題	それぞれの現状				自由記載
				個人	地域	行政	その他	
4	子育て	地域(近所)の繋がり	世代間の交流が少ない			◆高齢者への公民館の 開放(お茶のみ話?)		◆自治会・子ども会・PTAなどの自助・共助として機能していたシステムが、担い手不足、ライフスタイルの変化で成り立たなくなっている。自分の興味ある分野でのつながりがあればそれでよい人も多いので、他社への理解が進まず、何か問題が起こったら自己責任になってしまい助けの手に繋がりにくい。
5	道路・交通	駐輪場	長岡京市は自転車の使用率が高いわりに、駐輪場が少ない。					